

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	乳癌
治療法	パクリタキセル+アバスチン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	パクリタキセル	アバスチン
規格	30mg/5mL 100mg/16.7mL	100mg/4mL 400mg/16mL
一般名	パクリタキセル	ペバシズマブ
一日投与量(規定)	90mg/m <sup>2</sup>	10mg/kg
患者情報から算出した一日投与量	<b>135.1 mg</b>	<b>500 mg</b>
実際の投与量	<b>120 mg</b>	<b>400 mg</b>
	<b>79.9 mg/m<sup>2</sup></b>	<b>8 mg/kg</b>
投与日	day1,8,15	day1,15
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	乳癌
推奨経口剤	〇このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.重篤な骨髄抑制のある患者 2.感染症を合併している患者 3.本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴のある患者 4.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 5.次の薬剤を投与中の患者:ジスルフィラム, シアナミド, カルモフル, プロカルバジン塩酸塩 6.喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE Ver4.0におけるgrade3の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●<b>パクリタキセル</b></p> <p><b>重大</b> 1.ショック(0.2%)、アナフィラキシー様症状(0.3%) 2.骨髄抑制(白血球減少(61.4%)、好中球減少(55.5%)、貧血[ヘモグロビン減少(30.7%)、ヘマトクリット値減少(5.0%)、赤血球減少(11.2%)等]、血小板減少(11.7%)、汎血球減少等、感染症[尿路感染(2.3%)、上気道感染(4.8%)、敗血症(0.9%)、带状疱疹(1.0%)、肺炎(1.1%)等]</p> <p>3.末梢神経障害(43.8%)、麻痺(0.1%)、片麻痺(0.1%未満)、不全麻痺(頻度不明)</p> <p>4.間質性肺炎(0.5%)、肺線維症(頻度不明) 5.急性呼吸窮迫症候群(0.1%未満) 6.心筋梗塞、うっ血性心不全、脳卒中、肺水腫(以上0.1%未満)、心伝導障害(頻度不明)、肺塞栓(0.1%)、血栓性静脈炎(0.4%)</p> <p>7.難聴(0.2%)、耳鳴(0.5%) 8.消化管壊死(頻度不明)、消化管潰瘍(0.1%)、消化管穿孔、消化管出血(以上0.1%未満)</p> <p>9.出血性大腸炎(0.1%未満)、偽膜性大腸炎、虚血性大腸炎(以上頻度不明) 10.腸管閉塞(1.6%)、腸管麻痺(0.1%)</p> <p>11.肝機能障害(4.0%)、黄疸(0.1%未満) 12.膵炎(0.1%未満) 13.急性腎不全(0.2%)</p> <p>14.中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群(頻度不明) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC)(0.1%)</p> <p>16.腫瘍崩壊症候群(頻度不明) 17.白質脳症(可逆性後白質脳症候群を含む)(頻度不明)</p> <p><b>その他</b> 脱毛症(92.3%)、発疹(37.6%)、爪の障害(20.4%)、感覚減退(76.8%)、味覚異常(12.7%)、浮動性めまい(11.0%)、疲労(70.2%)、浮腫(17.1%)、発熱(12.2%)、悪心(39.2%)、嘔吐(18.2%)、下痢(29.8%)、便秘(22.1%)、食欲不振(21.0%)、口内炎(17.7%)、筋痛(43.1%)、関節痛(39.8%)、鼻咽頭炎(18.2%)、体重減少(12.7%)、体重増加(10.5%)、高血圧(12.7%)</p> <p>●<b>アバスチン</b></p> <p><b>重大</b> 1.ショック、アナフィラキシー(1.8%) 2.消化管穿孔(0.9%) 3.瘻孔(0.3%) 4.創傷治癒遅延:創し開(0.5%)・術後出血(0.4%)</p> <p>5.出血(19.4%) 6.血栓塞栓症 7.高血圧性脳症(頻度不明) 8.可逆性後白質脳症候群(0.1%未満)</p> <p>9.ネフローゼ症候群(0.1%未満) 10.骨髄抑制 11.感染症(10.0%) 12.うっ血性心不全(0.1%未満) 13.間質性肺炎(0.4%)</p> <p>14.血栓性微小血管症(頻度不明)</p> <p><b>その他</b> 神経毒性、食欲減退、悪心、口内炎、下痢、嘔吐、便秘、胃腸障害、尿蛋白陽性、肝機能異常、高血圧、上室性頻脈、脱毛症、発疹、皮膚変色、剥脱性皮膚炎、関節痛、肺高血圧症、眼障害、疲労・倦怠感、発熱、蜂巣炎、鼻中隔穿孔、卵巣機能不全、骨盤痛</p>
備考	

パクリタキセル+アバスチン併用療法 観察記録①⑮

所要時間: 初回3時間半、2回目3時間  
3回目以降2時間半

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師:	<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	パクリタキセル(                    mg ) 一般名(パクリタキセル) アバスチン(                    mg ) 一般名(ベバシズマブ)				
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止					投与開始時間      調剤      実施
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		初回: 3時間30分かけて点滴【71mL/h】 2回目: 3時間かけて点滴【83mL/h】 3回目以降: 2時間30分かけて点滴【100mL/h】		
	生食100mL + デカロン 2 A + ラモセロン1A + ファモチジン1A		30分かけて点滴【200mL/h】		
	生食20mL + ポララミン1A		静注		
	5%ブドウ糖250mL + パクリタキセル		1時間かけて点滴【270mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		
生食100mL + アバスチン		初回: 90分かけて点滴【                    mL/h】 2回目: 60分かけて点滴【                    mL/h】 3回目以降: 30分かけて点滴【                    mL/h】			
本体終了後抜去					

パクリタキセル+アバスチン併用療法

観察記録⑧

所要時間:2時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: パクリタキセル( mg ) 一般名(パクリタキセル)	<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止	投与開始時間	調剤	実施	
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		2時間かけて点滴【125mL/h】		
	生食100mL +デカドロン 2 A +ラモセトロン1A +フェモチジン1A		30分かけて点滴【200mL/h】		
	生食20mL +ポララミン1A		静注		
	5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル		1時間かけて点滴【270mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		
本体終了後抜去					